

日本補完代替医療学会誌

Japanese Journal of Complementary and Alternative Medicine

投稿規定

I. 編集方針について

1. 本誌はオリジナルの論文を原著、短報、速報、症例報告、Letter to the Editor、総説、Current Views、臨床現場シリーズなどとして掲載する。
2. 本誌の投稿規定は、基本的に国際医学雑誌編集者委員会「International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE)」制定のガイドライン (Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals) 第5版に準じる。(※詳細は Annals of Internal Medicine 1997;126:36-47. を参照のこと)
3. 本誌は補完代替医療関連領域のオリジナルな論文で、他誌に未発表のもの、掲載予定でないもの、あるいは現在投稿中でないものを掲載する。なお、補完代替医療の定義は「西洋現代医学領域において、化学的未検証および臨床未応用の医学・医療体系の総称」とする。また、投稿の際、米国 NIH 代替医療分類を参考にした下記の分類 [1] ~ [7] を参照のこと。
 - [1] 代替医学システム (Alternative Medical Systems)
理論や療法のシステムがすでに確立されており、西洋現代医学より先に世界各地の独立した文化の中で行われてきた伝統医学のこと。鍼、灸、漢方等の伝統的東洋医学、アーユルヴェーダ等のインド伝統医学など。
 - [2] 心身の作用 (Mind-Body Interventions)
体の機能や症状に対して影響を及ぼす心の作用のことで、行動科学的、心理学的、社会的なアプローチによる療法のこと。認知行動療法、イメージ療法、催眠療法、音楽療法、芸術療法、カラー療法など。
 - [3] 生物学的療法 (Biologically Based Therapies)
自然や生物学的な観点に基づくプロダクトやそれを用いた療法のこと。食品・食物による栄養療法、サプリメントやビタミンを用いた栄養療法、ハーブ療法、アロマセラピーなど。
 - [4] 手技・身体療法 (Manipulative and Body-Based Methods)
体をマニピュレーションしたり、動かしたりする手技療法や身体的療法のこと。マッサージ療法、温泉療法など。
 - [5] エネルギー療法 (Energy Therapies)
体に源を発する場または磁気の場合からのエネルギー医学の理論に基づく療法のこと。セラピューティックタッチ、光療法、温熱療法、磁気治療など。
 - [6] 補完代替医療の基盤となる基礎的もしくは臨床的研究
免疫療法、血液レオロジー、フリーラジカル、抗加齢医学、環境医学、疫学調査など。
 - [7] その他、西洋現代医学領域において未応用の代替的高度先進医療など。

II. 投稿・掲載にあたっての条件

1. 投稿資格
投稿代表者1名は、本会会員であることを要する。共著者は原則として本会会員であることが望ましい。(会員は年会費を完納していること)
2. 著作権
本誌がより広範の読者を対象にすることや電子化を考慮して、著作権は本学会に所属するものとする。
3. 誓約書
著者と編集部との間に定める二重投稿、同時投稿および著作権に関する誓約書(巻末に綴じ込み)を同封する。
4. 倫理規定
 - [1] 人体を対象とした研究では、世界医師会のヘルシンキ宣言の中で述べられているように、科学的および倫理的規範に準じていなければならない。被験者には研究内容についてあらかじめ十分に説明し、自由意思に基づく同意を得る。
 - [2] 研究課題によっては、所属施設の倫理委員会またはこれに準ずるものの承認が必要である。
 - [3] 動物を対象とした研究では、動物愛護の立場から実験計画を立て、全実験期間を通じて適切な飼養管理や処理を行わなければならない。

[4] 著者は自らの研究に関する全ての利害関係（資金面での企業の影響、学術研究上の競争など）について公表しなくてはならない。

5. 臨床試験

研究代表者は臨床試験実施の際、あらかじめUMIN (University hospital Medical Information Network) のCTR (Clinical Trial Registry: 臨床試験登録) あるいはClinicalTrials.govに登録しておくことが望ましい。

また、ランダム化試験のデザインは、CONSORT 声明 2010 (Consolidated Standards of Reporting Trials: 臨床試験報告に関する統合基準) に基づくことを原則とする。

6. 掲載の決定方法

投稿論文は複数の専門家による査読を行い、編集部が掲載の採否を決定する。査読の結果、原稿の修正を求めることがある。再提出を求められた原稿は、返送日（発送した日）から2ヵ月以内に再提出すること。2ヵ月以上を経過して再提出された場合は、新規投稿受付として取り扱われる。掲載は、原則的に掲載の採否が決定した順とする。

III. 投稿論文のフォーマット

1. 論文のまとめ方

論文のまとめ方については、

表紙／要旨（日本語）／はじめに／材料・方法／結果／考察／結論／助成元／謝辞／参考文献／ABSTRACT（英語）／図表／図説の項目に基本的に従い、分かりやすくまとめる。それぞれの項目の内容については、十分に意を尽くす必要があるが、臨床試験報告（特にランダム化比較試験）の場合は、JAMA1996;276:637-639.に掲載されたコンソート声明（日本語訳；JAMA＜日本語版＞1997年7月号：74-77.）に準拠することが望ましい。

[1] 原著

(1) 本欄は、重要な問題の理解を実質的に進展させ、また広く一般の興味を引くような成果を報告する。未発表のオリジナルな研究論文を掲載する。

(2) 執筆要項

原則として、ワードプロセッサで印字されたものとし、A4サイズ of 用紙で、12ポイント活字とする。用紙は、上下約2cm、左右約3cmのマージンを設定して、ページ番号は表紙を第1頁とし、抄録まで順次記入すること。（図表には頁数をつけない）Microsoft Office (Word, Excel, Power Point) で書かれたもので、バージョンは97-2010が望ましい。

1) 表紙

論文表題（和英併記）、著者名（和英併記）、所属機関（日本語）、連絡先（郵便番号、住所、電話番号、Fax番号、e-mailアドレス）を記載する。表題中には略語、商品名等、表題に適当でない言葉は原則として用いない。

2) 要旨

400字以内とし、項目順に簡潔にまとめる。キーワード（8個以内の日本語）を記載する。

3) 字数

原則として、本文は文献を含めて8,000字以内、写真・図表は8点以内（刷上がり6頁までが掲載料に含まれる）とする。

4) 文章表記

① 原稿は横書き、ひらがな、新かなづかいを用い、正確な句読点をつける。外国語、外国語名、地名、薬品名は原語のまま用いる。しかし、一般に日本語化している外国語は、カタカナを用いてもよい。

② 英数字を用いる場合は半角文字で表記する。

③ 度量衡の単位は、mm, cm, ml, dl, l, ng, mg, g, kgなどの国際単位系を用いる（半角文字で表記）。
年号は西暦で統一する。

5) 参考文献

引用順に本文と参考文献の頭に通し番号を付して（欧文および和文共に）並べる。ただし、メーカーの発行する販売促進雑誌からの引用は認めない。文中、文献を示す数字は、文中の右肩付きとし、右片括弧に入れる。

① 表題・著者数

文献の表題は、副題も含めてフル・タイトルを記す。参考文献の著者や編集者は、3名まではすべて記載。著者官はコンマで区切る。4名以上の場合は「ら」、または「et al」とする。

② 雑誌

著者名, 論文題目, 雑誌名 (類似の誌名があるときは発行地, 欧文誌名は Index Medicus 採用の略語を使用), 西暦発行年; 巻 (号): 起始頁 - 最終頁. ただし, 巻数の記載を欠く雑誌を引用する場合には, 巻数の代わりに通し号数または発行年月日を記載する.

例 1) 鈴木信孝. 代替医療の海外での現状. 医学のあゆみ. 1999;191(4):293-297.

例 2) Eisenberg DM, Kessler RC, Foster C, et al. Unconventional medicine in the United States. Prevalence, costs, and patterns of use. N Engl J Med 1993;328(4):246-252.

③ 書籍

著者名, 書名, 版数, 発行地, 発行所名, 西暦発行年: 起始頁 - 最終頁.

例) 鈴木信孝. 「適切な代替医療」選択のポイント. 第 1 版. 東京. 日本医療情報出版. 2001:71-88.

④ 古文献

江戸期以前の図書については, 原則として, 編著者名, 書名, 成立年, 刊行年 (もしくは抄写年), 発行者, 発行地, および該当丁 (葉) (表・裏) あるいは, 頁数もしくは項目名を記し, 稀観本については所蔵者名も明記する.

例) 吉益東洞. 薬徴. 1828, 1980. 財団法人漢方医学研究所. 東京. 145-150.

⑤ その他

現代中国の文献の場合は, 日本で使用されている漢字に直して記載する.

⑥ 引用を避けるもの

学会抄録, 私信, 未刊行物. ただし, 口頭でなく, 文書による通信は本文中 (カッコ内) に挿入してもよい. 受理されているが, まだ掲載されていない論文は, 雑誌名を記して「印刷中」とする. 投稿したがまだ受理されていない論文から取得した情報は, 本文中に (未刊行) として引用する.

6) ABSTRACT

280words 以内 (必ず英文タイプ打ち) とし, 題目と共に別紙に記載する. 文章の形式は, 英文の「構造化抄録 (structured abstract) の形式とし, Objective, Design, Methods, Result, Conclusion の順で記載する. 題名は単語の 1 文字目を大文字とし, また省略語を用いない. 著者名, 所属機関, キーワードを英語で表記する. Abstract に省略語を用いる場合には, 最初に正式名を示す. 投稿前に必ず著者においてネイティブチェックを済ませておくこと. 編集部では Abstract のネイティブチェックは行わないものとし, 事前にネイティブチェックを受けていない原稿は投稿受付できない. ネイティブチェックの有無の確認は「日本補完代替医療学会誌投稿書式」で問うものとする.

7) 図表

図表の説明は別紙に記入する. 本文中に最初に引用された順番に, 図と表に別々の通し番号を付け, 各々に短いタイトルをつける. 図の裏面には, ラベルを貼付し, 図の番号, 上下のしるし, 著者名, 論文タイトルを記入する. 既発表の図 (写真を含む) 表, その他を引用, 転載する場合には, あらかじめ著作権所有者の許可を得ること.

8) 投稿

原稿は, 写真・図表を含め 4 部 (本文 3 部はコピーで可, 写真・図表はオリジナル 4 部) と CD-R (本文, 写真・図表を保存したもの) を編集部へ送付する. また, 写真・図表の大きさはできるだけコンパクトなものが望ましく, 十分に判読できる質のものとする. カラー図版での印刷を希望する場合は投稿書式にその旨を明記すること. 機種名・ソフト名を必ず記入すること. 投稿された原稿 (図表を含む) ならびに CD-R は原則として返却しない. なお, 本学会投稿規定に従っていないものは受け付けないことがある.

9) 著者校正

著者校正は 1 回のみとする.

[2] 短報

(1) 本欄は, 広く読者の興味を引くような話題を扱った短い報告や専門外の読者の興味を引く新しい報告について掲載する. 本欄に掲載された後に, 同じ内容の原著は本誌では掲載しない.

(2) 執筆要項

1) 原則として, 本文は文献を含めて 2,500 字以内, 写真・図表は 2 点以内 (刷上がり 3 頁までが掲載料に含まれる).

2) 要旨は 200 字以内, Abstract は 100 words 以内とする.

- 3) キーワードは5個以内で選定し、日本語と英語で明記する。他は原著と同じ。
- (3) 査読を経て、編集部で採否を決める。

[3] 速報

- (1) 本欄は、傑出した発見に的を絞った独創性が高く、かつ速報性のある未発表のオリジナルな研究の報告、もしくは、予報的な報告を掲載する。本欄に掲載された後に、同じ内容の原著、短報は本誌では掲載しない。
- (2) 執筆要項
 - 1) 原則として、本文は文献を含めて2,500字以内。写真・図表は2点以内（刷上がり3頁までが掲載料に含まれる）。
 - 2) 要旨は200字以内、Abstractは100 words以内とする。
 - 3) キーワードは5個以内で選定し、日本語と英語で明記する。他は原著と同じ。
- (3) 査読を経て、編集部で採否を決める。

[4] 症例報告

- (1) 本欄は、貴重な臨床症例や今後の臨床に活かされる内容で、他誌に掲載されていないものとする。本欄に掲載された後に、同じ内容の原著、短報や速報は本誌では掲載しない。
- (2) 執筆要項
 - 1) 原則として、本文は文献を含めて3,000字以内。写真・図表は4点以内（刷上がり3頁までが掲載料に含まれる）。
 - 2) 要旨は200字以内、Abstractは100 words以内とする。
 - 3) キーワードは5個以内で選定し、日本語と英語で明記する。他は原著と同じ。
- (3) 査読を経て、編集部で採否を決める。

[5] Letter to the Editor

- (1) 本欄は、日常の診療・研究活動上得られたヒント、思いつき、発見、反省点、盲点など、また、本誌に掲載された論文に対する各種の意見（追加・討議・意見・希望など）を原著論文等の形式ではなく、日常的な文体（例えば口語文）や文章構成で書いたものとする。
- (2) 執筆要項
 - 1) 原則として、本文は文献を含めて1,000字以内。写真・図表は1点以内（刷上がり1頁までが掲載料に含まれる）。
 - 2) 要旨・Abstractは不要。
 - 3) キーワードは5個以内で選定し、日本語と英語で明記する。他は原著と同じ。
- (3) 査読はないが、編集部で校閲を行い、採否を決める。

[6] 総説

- (1) 本欄は、補完代替医療関連の問題について、最近における内外の知見を総説的に記述したものとする。著者の原著報告であってはならない。ただし、著者の業績を中心に述べることは差し支えない。原則として依頼原稿とする。
- (2) 執筆要項
 - 1) 原則として、本文は文献を含めて20,000字以内。写真・図表は8点以内。
 - 2) 要旨は400字以内、Abstractは300 words以内とする。
 - 3) キーワードは10個以内で選定し、日本語と英語で明記する。他は原著と同じ。

[7] Current Views

- (1) 本欄は、補完代替医療関連の問題について、医学領域以外の最新の視点を総説的に記述したものとする。具体的には、補完代替医療の社会的・経済的側面、倫理的側面などがあげられる。著者の原著報告であってはならない。ただし、著者の業績を中心に述べることは差し支えない。原則として依頼原稿とする。
- (2) 執筆要項：総説に準ずる。

[8] 臨床現場シリーズ

- (1) 本欄は、臨床現場における補完代替医療の取り組みやその問題点、今後の展望などを総説的に記述したものとする。著者の原著報告であってはならない。ただし、著者の業績を中心に述べることは差し支えない。原則として依頼原稿とする。
- (2) 執筆要項：総説に準ずる。

IV. 会報

1. 理事会

主に、本部理事会から会員への活動報告等。

2. 学会各部活動報告

[1] 学会の各委員会の活動状況の報告

[2] 学会員の動態報告

[3] その他

3. 巻頭言

[1] 原則として会長以下、理事等役員が執筆する。

[2] 学会のあり方・将来について等、学会の基本的な姿勢を提言する。

4. 紹介

[1] 図書や書籍の紹介。

[2] 補完代替医学関係の研究施設等の紹介。

[3] その他、国内外の学会の動向等に関する紹介。

[4] 原則として、10,000字（刷上がり5頁）以内。刷上がり5頁以内であれば、図・表・写真等も掲載可。

5. 会長講演・特別講演・教育講演・シンポジウム

これらは、いずれも学術集会の際に行われた講演やシンポジウムを学会誌に再録するものである。原則として依頼原稿とする。

V. 掲載料および図版作製・別刷作製

掲載料金は、筆頭著者が本会会員の場合は20,000円、それ以外の場合は30,000円を徴収するものとする。論文の種別によって掲載料に含まれる刷上がり頁数および図表・写真の点数が決められている。それを超過した場合は、超過料金を徴収する。また、特殊な図表・写真についても点数に関係なく実費を請求する（通常の印刷費以外に費用を必要とする場合をすべて含む）。図表・写真は原則として、そのまま写植して掲載できる見やすいものとする。英文投稿の場合は、別途実費を請求する。

頁超過料金：1頁につき15,000円

図表・写真超過料金：1点につき3,000円

図版作製：カラー印刷、トレースまたは修正を要したものは実費を請求する。カラー印刷に要する料金は、A4 1頁ごとに80,000円とし、1頁以内にカラー図表・写真が3点以上ある場合は、別途1点あたり4,000円を加算する（いずれも消費税は別途加算）。

別刷作製：別刷の申し込みについては著書校正の際に、別刷申込書にて問うものとする。

VI. 原稿送付先

図表・写真を含め4部（本文3部はコピーで可、図表・写真はオリジナル4部）と、CD-R（本文、図表・写真を保存、機種名、ソフト名を記載する）を下記まで送付する。原則として投稿された原稿（図表・写真を含む）およびCD-Rは返却しない。また、巻末綴込みの「誓約書」および「投稿書式」に必要事項を記入の上、添付すること。

書留便または宅配便で送付する。表に「原稿在中」と朱書きすること。

【送付先】

〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 臨床研究開発補完代替医療学講座内

日本補完代替医療学会誌 編集委員長 鈴木信孝 宛

Tel: 076-265-2147 Fax: 076-234-4247 E-mail: pcam@med.kanazawa-u.ac.jp